

特別展

花の宮廷画家 ルドゥーテ

Pierre-Joseph Redouté:
The Official Court Artist of
Botanical Illustrations

会期 : 5.31[土]~7.21[日]

休館日 : 月曜日 (祝日の7月21日は開館)

開館時間 : 9時30分~17時00分 (入館は16時30分まで)

観覧料 : 一般1,000円 (900円)、大学生800円 (720円)

主催 : 下関市立美術館 読売新聞社 KRY山口放送

特別協力 : コノサズ・コレクション東京

企画協力 : 青幻舎プロモーション

※()内は平日料金。※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は、観覧料が免除されます。下関市内に居住する65歳以上の方は半額が免除されます。(いずれも公的証明書の提示が必要です)

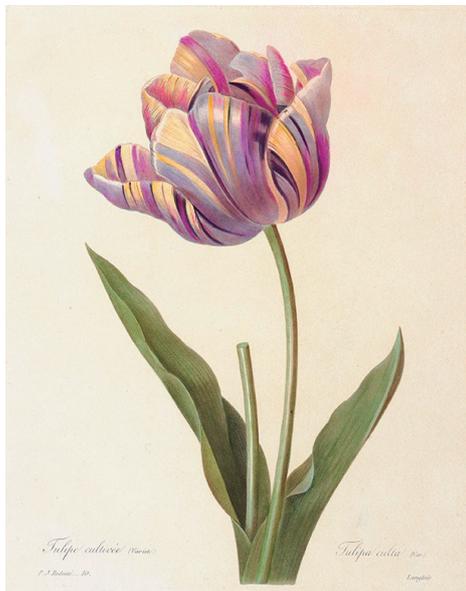
展覧会のみどころ

- (1) 集大成『美花選』の全144点を一挙展示
- (2) バラの画家ルドゥーテのバラ作品15点を展示
- (3) ルドゥーテの肉筆画3点を展示

展覧会について

現在のベルギー南東部ワロン地方にて代々画家を家業とする家に生まれたピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ (1759～1840) は、ルイ16世王妃マリー・アントワネットの博物蒐集室付素描画家として、そしてフランス革命後はナポレオン1世皇妃ジョゼフィーヌに仕えた宮廷画家として自然史博物館付植物画家・図画講師を歴任しました。ルドゥーテは植物画家として名高く、その高い技量から「花のラファエロ」「バラのレンブラント」とも称されています。

このたびはルドゥーテの集大成といえる植物図譜『美花選 (Choix des plus belles fleurs)』(1827-33年刊)の全144点と、貴重な肉筆画3点、そして彼の代表作『バラ図譜 (Les Roses)』(1817-24年刊)より厳選された15点の160点余りにより、ルドゥーテの美しい植物画の世界へとといざないます。



『美花選』より《チューリップ》1827-33年
コノサズ・コレクション東京蔵



『バラ図譜』より《ロサ・スルフレア》1817-24年
コノサズ・コレクション東京蔵



肉筆画《赤のランタンキュラス、紫と黄色のパンジーの花束》1821年、コノサズ・コレクション東京蔵

関連催事

①【講演会】美しき花の姿を求めて～画家ルドゥーテのまなざし

日時：2025年6月14日（土）午後1時30分～（約1時間）
場所：下関市立美術館 講堂
講師：中村美砂子（一般社団法人日本ルドゥーテ協会副代表理事）
定員：60名（当日受付）※要観覧受付

②【ワークショップ】お花屋さんが講師のフラワーアレンジメント講座

日時：2025年6月7日（土）午後1時30分～（約1時間）
場所：下関市立美術館 造形室
対象：小学生以上
定員：20名（要事前申込、先着順）
参加費：3,000円
申込方法：2025年5月6日（火）9時30分より受付開始。※開始時間より早い応募は無効
公式ウェブサイト掲載のGoogleフォームもしくはお電話／来館にて、
参加者氏名・連絡先をお知らせください。

③【美術講座】ルドゥーテの生きた時代の美術

日時：2025年7月12日（土）午後1時30分～（約1時間）
場所：下関市立美術館 講堂
講師：関根佳織（当館学芸員）
定員：60名（当日受付）※要観覧受付

④ショート・トーク

内容：展覧会の概要と見どころを約15分で解説します。
日時：会期中の火曜日 各日10時～、11時～、14時～、15時～（約15分間）
会場：下関市立美術館 講堂
定員：各回40名（当日受付）※要観覧受付